

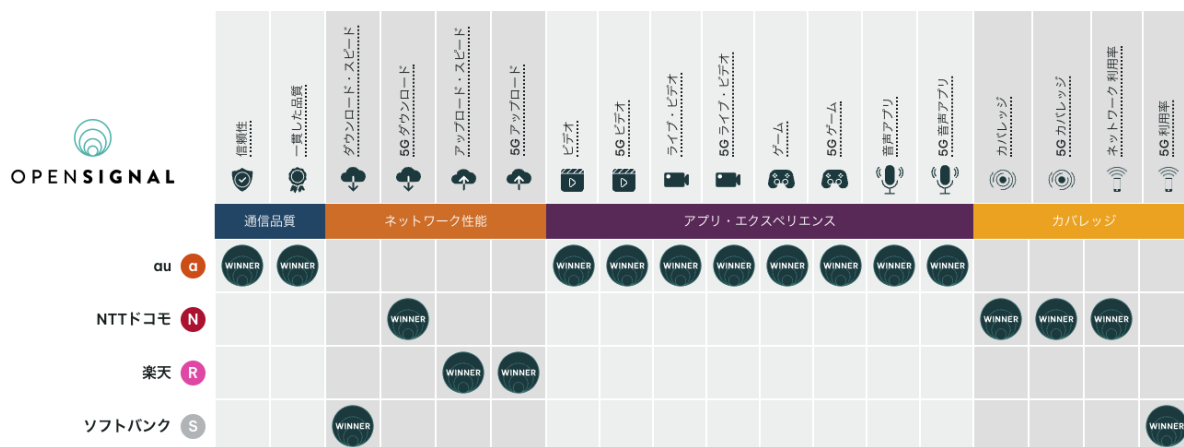
Opensignal、最新の日本モバイル・ネットワーク・ユーザー体感レポートを発表

au が全国 10 部門で単独受賞、ネットワーク性能とカバレッジ部門で各社の強みが鮮明に

Opensignal（本社: 米国ボストン）は、最新の日本モバイル・ネットワーク・ユーザー体感レポート（2026 年 10 月）を発表しました。本レポートは、2026 年 7 月 1 日から 9 月 28 日までに収集したデータに基づき、日本の主要なモバイル・オペレーター 4 社（au、NTT ドコモ、楽天モバイル、ソフトバンク）のユーザーが実際に体感したネットワークの品質を包括的に分析したものです。

モバイル・エクスペリエンス・アワード

2026 年 10 月、日本レポート



モバイル・ネットワーク・ユーザー体感レポート | 2026 年 10 月 | © Opensignal Limited

主な分析結果

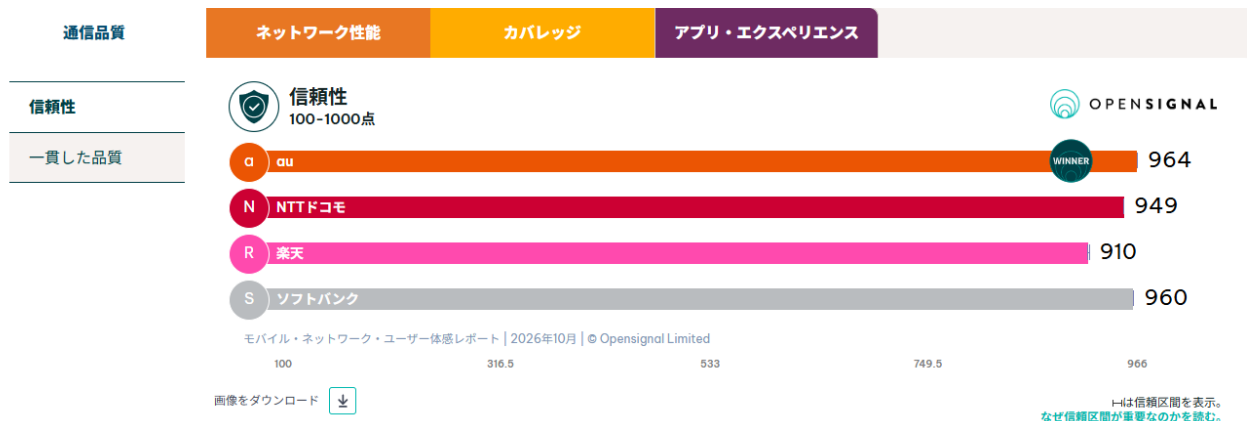
- **au が「信頼性」「一貫した品質」とアプリ・エクスペリエンスで首位**
「信頼性」は 964 点（100～1,000 点）、「一貫した品質」は 86.9%を記録。
ビデオ、Live ビデオ、ゲーム、音声アプリの総合・5G 評価の全 8 部門でも首位を獲得しました。
- **NTT ドコモが全体及び 5G の「カバレッジ」と「5G ダウンロード・スピード」で首位**
「カバレッジ」と「5G カバレッジ」の両部門で再受賞しました。
また、「5G ダウンロード・スピード」でも首位を維持しています。
- **ソフトバンクが「ダウンロード・スピード」と「5G 利用率」で首位**
「ダウンロード・スピード」は前回分析レポートから約 10%向上した 71.5Mbps を記録しました。
「5G 利用率」は 36.1%となり、引き続き首位を維持しています。
- **楽天モバイルが全体及び 5G の「アップロード・スピード」で首位**
全体及び 5G の「アップロード・スピード」の両部門で首位を獲得。
地域別評価でも、全国 8 地域すべてで両部門の単独受賞を果たしました。
- **au が地域別受賞数でトップ、4 社全てで「5G 利用率」が向上**
au は全国 8 地域で単独受賞 39 件、共同受賞 49 件を獲得。
ソフトバンクは「5G 利用率」で全 8 地域の首位を獲得し、全国評価では 4 社すべての「5G 利用率」が前回から向上しました。

日本のモバイル・ネットワーク市場の動向

今回の分析では、au が全国 10 部門で単独受賞し、通信品質とアプリ・エクスペリエンス部門で高い評価を獲得しました。

一方、NTT ドコモは「カバレッジ」と「5G ダウンロード・スピード」、楽天モバイルは「アップロード・スピード」、ソフトバンクは「ダウンロード・スピード」と「5G 利用率」で強みを示しています。

通信サービスの特徴は、スピード、利用できる場所の広さ、通信品質、アプリの使い心地など、評価する観点によって異なります。本レポートでは、全国および地域別の分析を通じて、各社のユーザー体感を多角的に示しています。



参考資料

日本モバイル・ネットワーク・ユーザー体感レポート(2026 年 10 月) DL:

<https://insights.opensignal.com/reports/2026/10/japan/mobile-network-experience>

注：内容は、英語版の翻訳です。日本語との内容に不整合がある場合、英語版が優先されます

Opensignal について

Opensignal は、消費者のネットワーク体感と意思決定に関する独立した知見を提供するグローバル・プロバイダーです。オペレーターは、Opensignal が提供するモバイルおよびブロードバンド・ネットワークに関する弊社独自のインサイトを活用することで、エグゼクティブ・レベルのスコアカードや公的検証から、特定レベルのエンジニアリング分析や消費者の意思決定に至るまで、利益の改善や、業界に勝ち残るためのソリューションを得ることができます。弊社の分析方法は独自のもので、高い透明性を担保し、すべてのオペレーターがネットワーク接続を継続的に改善できるよう支援します。弊社は米国、カナダ、英国に本社を擁し、南米とアジアに営業拠点を展開しています。

本件に関する問い合わせ先

Opensignal 広報担当

Adriane Blum

VP, Global Marketing and Communications at Opensignal

press@opensignal.com

Opensignal 広報代理

担当：神谷

opensignal@jspin.co.jp